



## 今だからこそ つながろう 気にかけて合おう

新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に大きな不安や脅威をもたらし、経済的な困窮や自粛生活による心や体の不安や不調、社会的孤立といった切実な生活課題が生じています。

これまで、地域のつながりを大切にしてきた、各地区福祉委員会の活動にも大きく影響し、活動の見直しを余儀なくされました。地区福祉委員会では、地域のつながりが切れないよう知恵を絞り、工夫を凝らしながら、また孤立しないように、新たなつながり方を試みています。こうした取り組みの中から、2つの地区の活動を紹介します。



東谷  
フードパントリー

### お知らせ

令和3年4月1日(木)より、川西市社会福祉協議会の開所時間が変わります！  
詳しくは7ページをご覧ください。

- 1...今だからこそ、つながろう、気にかけて合おう
- 2...東谷地区福祉委員会、明峰小地区福祉委員会の取り組み
- 3...コロナ禍だからこそ工夫を！ボランティアの可能性は無限大！
- 4...赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金のご報告
- 5...住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために
- 6...善意銀行・ボランティア基金だより
- 7...ふくしの総合相談窓口／川西市社協の開所時間が変わります！
- 8...ボランティア情報／谷口交通遺児基金のお知らせ

## コロナ禍の今だからこそ、できること・必要なこと

～東谷地区福祉委員会の取り組み～



東谷地区では、「つながる“わ”inひがしたに」(福祉ネットワーク会議※)を開催。その中で子どもたちが安心して過ごせる居場所としての、子ども食堂が必要との声が上がリ、子ども食堂ひがしたに準備委員会を立ち上げました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響で、開催は難しい状況に。そんな状況下でも、これならできないのではないかと提案があったのが、「フードパントリー」でした。

「地域の子どもたちを食で応援するために、パントリーの開催を考えました。初めての試みで不安もありましたが、チラシの配布後、予約の連絡があり、地域にニーズがあることが分かりました。食材を受け取りに来た子どもたちから元気ももらう事ができ、これからも地域でほっとできる場所、ほっとする気持ちを大切に、つながりを作っていきたいと思いました。」と、東谷地区福祉委員会委員長の片峰さん。この活動を月1回のペースで子ども食堂あかねとの共催にて開催し、地域のつながる“わ”が広がり、子どもたちが安心して過ごせる居場所として、子ども食堂の開催につながるよう、活動を続けています。

### フードパントリーとは?

企業や個人から余剰となった食品を募り、生活にお困りの方へ無料で提供する活動です



開催当日に向けて、1つずつ丁寧に準備しています

### ※福祉ネットワーク会議

小学校区単位で、地域の気になることを話し合う住民主体の協議の場です。

## 集まらないなら、こちらから行こう!

～明峰小地区福祉委員会の取り組み～



新型コロナウイルス感染症の影響で多くの活動が中止や休止を余儀なくされ、特にサロンやカフェなど、人が集まり、ふれあう大切な活動が難しくなりました。

そのような中、明峰小地区では、活動の軸を訪問型に移し、ちょっとした困りごとを支えあう、有償ボランティア「たのみ隊」を7月に発足。感染対策に留意しながら、ゴミ出しや庭の手入れなど暮らしを支える活動を始めました。

また、『安心サポート』(※)では、10月にサポーターが見守りを希望されている方の自宅へ訪問。手紙とタオルに加えて笑顔と安心をお届けしました。雨戸が閉まったままになっていないか、郵便物がたまっていないかなど、日常生活の中の緩やかな見守り活動を続けています。

「訪問型の活動は、住民の皆さんに寄り添い、より地域を知ることができる。今後の地域福祉活動では、サロンなどの参加型と訪問型とのバランスの重要性を感じる。」と、明峰小地区福祉委員会委員長の植杉さん。訪問型支援活動を始めたことで、地域の困りごとが今まで以上に増えてくるようになり、誰もが住みよいまちづくりにつながっています。



「安心サポート」でのひとこま。“お元気でいらっしゃいますか?”のメッセージとタオルをお届け。

### ※『安心サポート』

小地域(250～300戸)単位で行う明峰小地区の見守り活動。気になる世帯の早めの把握と対応につながっています。

### 社協会員会費が地域の福祉活動を支えています!

各地区福祉委員会活動の重要な財源になっているのが、自治会員の皆さんを中心にご協力いただいている社協会員会費です。今年度はコロナ禍で回覧も難しい中であっても、多くの自治会の皆さんにご協力を賜り、各地区での“新型コロナに負けない”活動につながりました。誠にありがとうございました。

# コロナ禍だからこそ工夫を! ボランティアの可能性は無限大!

## 川西市ボランティア連絡協議会(V連)についてご紹介します

川西市ボランティア連絡協議会(以下「V連」)は、ボランティア同士の交流や親睦、連絡調整、啓発を図り、ボランティア活動の発展と社会福祉の向上を目指すことを目的として、1984年2月に設立されました。現在は、川西市ボランティア活動センターに登録している59グループのうち7グループが加入しています。

具体的な活動は、障がい者団体との交流、ボランティア研修、災害対策の研修など様々ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年通りの活動ができなくなりました。そんな状況の中でのV連の活動をご紹介します。

こちらは私たちが作った布マスクの写真です。

V連の会員に呼びかけたところ、たくさんの布地が集まりました。グループ間で協力し合い、「1日でも早くコロナが終息しますように」と願いをこめて200枚作成。このマスクは市内の高齢者施設、障がい者施設などで使ってもらえるように、社協の善意銀行に寄付しました。



手作り布マスクで使用した布の余りを活用し、エコバックや枕カバーなど、たくさんの種類のものを作成、V連内で販売し、その売上29,060円を令和2年7月の豪雨災害の義援金として寄付しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、今までと同じように活動するのが難しい1年でした。そんな状況の中でも、なにかできることがないかと工夫し、ボランティア活動を続けてきたV連ですが、現在、加入グループが減ってきています。

川西市内のボランティアグループの皆さん、こんなときだからこそ、グループ同士のつながり合い、支え合いを大切に、創意工夫のもと様々な活動をすることができるV連へ加入してみませんか。少しでも、「ハッ」とされた皆さんは、毎月第3金曜日の午後1時半～3時半に、キセラ川西プラザ福祉棟2階共用会議室にて定例会を行っていますので、事前予約のうえ、ぜひ見学にお越しください。

川西市  
ボランティア  
活動センター  
より

川西市ボランティア活動センターでは、ボランティア連絡協議会の加入グループの他にも多くのボランティアグループや個人ボランティアが登録し、様々な活動を行っています。

ボランティア活動と言えば、災害支援を思い浮かべる方が多いと思いますが、それだけではなく、手話や点字などの技術を要するボランティア活動もあれば、自分の特技を活かしたボランティア活動もあります。また、地域で困っている人のちょっとしたお手伝いをする生活支援のボランティアなどもあります。

ボランティア活動に少しでも興味をお持ちの方は、お気軽にボランティア活動センターへ電話いただくかまたは窓口までお越しください。ボランティア活動との素敵な出会いが、あなたの“生きがい”につながるかもしれませんよ!

問合せ先:川西市ボランティア活動センター ☎072(759)5200

# 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金のご報告

(令和2年12月31日締)



10月1日より、全国一斉に運動を展開してきました「共同募金運動」は、自治会をはじめ、学校や職場などたくさんの皆さまにご支援、ご協力いただきました。ここにお礼とご報告をさせていただきます。ありがとうございました。

**“助け合い 広がる つながる 赤い羽根”**  
**赤い羽根共同募金運動**  
**募金目標額 9,340,000円**  
**募金実績 7,207,789円**



〈川西能勢口駅周辺にて街頭募金〉

10月1日には、「赤い羽根共同募金」の街頭募金を、川西能勢口駅周辺にて規模を縮小して行いました。今年度は、コロナ禍ということもあり、「こんな時期だけど頑張ってるね。」など市民の皆さまから、温かいお言葉と募金のご協力をいただきました。マスク、フェイスシールドをつけて、例年と違う街頭募金となりましたが、多くの方に立ち止まっていただきました。ご協力ありがとうございました。



〈川西能勢口駅周辺にて街頭募金〉



ガチャガチャ募金でのご協力  
ありがとうございます!

**“つながり ささえあう みんなの地域づくり”**  
**歳末たすけあい運動**  
**募金目標額 6,300,000円**  
**募金実績 5,033,496円**



〈社協玄関入り口にて〉

**募金集計表**

コロナ禍にもかかわらず、たくさんの真心をお寄せいただきました。厚くお礼申し上げます。集められた募金が、まちの福祉向上につながるよう、有効に活用させていただきます。



募集方法別	赤い羽根共同募金(円)	歳末たすけあい運動(円)
戸別募金(自治会)	5,166,856	4,209,847
街頭募金	21,796	-
学校募金	258,722	-
法人募金	715,500	-
職域募金	463,617	-
イベント募金	17,601	-
個人募金	379,786	35,594
その他の募金(任意団体等)	183,911	788,055
計(募金総額)	7,207,789	5,033,496

# 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために ～地域での暮らしをサポートします～

## 川西市障がい者基幹相談支援センターを新設!

12月1日(火)に川西市障がい児(者)地域生活・就業支援センターを改組し「川西市障がい者基幹相談支援センター」が新設されました。障がいを持つ人、その家族、地域の皆さまとともに、安心して暮らしていけるようサポートします。

### 基幹相談支援センターの役割



相談して「良かった」と思っただけのために・・・。

地域の相談機関との連携を強化し、相談支援事業者への専門的な指導助言、人材育成などのバックアップを行います。障がい者の生活全般における相談支援を行い、状況に応じて専門的な相談機関の紹介なども行います。働きたい、働き続けたい障がい者が安心・安定して就労できるように、市障がい者雇用・就労推進本部と連携をはかりながら支援を行います。住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるように、様々なご相談をお受けいたします。

一人で悩まず、まずはお気軽にご相談ください。個人の秘密は厳守します。

電話 072-758-6228 FAX 072-758-6250 E-mail shien-c@k-shakyo.or.jp

## 善意銀行だより

たくさんの善意をありがとうございます

令和2年8月1日～令和3年1月31日 受付分  
(敬称略・順不同)

### ● 預託の部 - 現金 -

	団体名・氏名	金額(円)	
令和2年 8月分	うさぎ自動車	1,000	
	徳栄建設(株)	5,000	
	長屋のおっちゃん	1,000	
	レフネック「地域」文化論学科院長有志	3,160	
	喜来我会	3,000	
	小林 純子	1,000	
	明峰小地区地球環境保護を考えた実行するルピナスの会	1,000	
	社協募金箱	45,422	
	9月分	前田吉太郎税理士事務所	10,000
		長屋のおっちゃん(6月分)	1,000
長屋のおっちゃん		1,000	
中島 祥好		100,000	
明峰小地区地球環境保護を考えた実行するルピナスの会		1,000	
うさぎ自動車		1,000	
一市民		20,000	
恵		6,000	
喜来我会		3,000	
10月分		長屋のおっちゃん	1,000
	長屋のおっちゃん	10,000	
	地域支援グループ「ひまわり」	50,000	
	徳栄建設(株)	5,000	
	うさぎ自動車	1,000	
	喜来我会	3,000	
	S	3,000	
	新田一市民	1,000	
	明峰小地区地球環境保護を考えた実行するルピナスの会	5,000	
	恵	3,000	
11月分	明峰小地区地球環境保護を考えた実行するルピナスの会	5,000	
	長屋のおっちゃん	1,000	
	うさぎ自動車	1,000	
	喜来我会	3,000	
	一般社団法人 近畿まちづくり協会	50,000	
	新田一市民	1,000	
	認知症予防ケアグループ きらら	20,000	
	12月分	うさぎ自動車	1,000
		長屋のおっちゃん	1,000
		NPO法人 プロレスリングアンサー	100,000
徳栄建設(株)		5,000	
一市民		20,000	
喜来我会		3,000	
S		4,303	
新田一市民		1,000	
明峰小地区地球環境保護を考えた実行するルピナスの会		5,000	
一市民		50,000	
一市民	50,000		
一市民	20,000		
一市民	10,000		
OKK株式会社 OKK労働組合	50,000		
恵	6,000		
令和3年 1月分	明峰小地区地球環境保護を考えた実行するルピナスの会	5,000	
	一市民	1,000	
	うさぎ自動車	1,000	
	喜来我会	3,000	
	長屋のおっちゃん	1,000	
神谷 典孝	10,000		
恵	3,000		

### ● 支出の部 - 現金 -

	団体名・氏名	金額(円)
令和2年 8月分	福祉教育活動補助(小学校1校)	20,000
	当事者団体への助成(5団体)	178,000
9月分	修学支援(中学校1校)	120,000
	グリーンハイツ地区福祉委員会へ指定払出(2件)	110,000
10月分	修学旅行費補助(小学校1校)	12,000
	当事者団体への助成(1団体)	31,500
	子ども食堂へ指定払出(4ヶ所)	30,000
11月分	生活困窮者自立支援事業(つなぎ資金)	8,751
令和3年 1月分	修学支援(中学校1校)	210,000
	修学旅行費補助(中学校1校)	10,436
	災害見舞金	30,000

### ● 預託の部 - 物品 -

	団体名・氏名	内容及び数量
令和2年 8月分	一市民	紙オムツ、尿取リパット、 介護シート
	一市民	口腔ケア用品、とろみ調整食品
9月分	一市民	リハビリパンツ(4袋)、 尿取リパット(14袋)
	恵しのデイサービス川西	紙オムツ(6袋)
	藤井 美喜子	紙オムツ(6袋)、尿取リパット(2袋)
11月分	一市民	尿取リパット(12袋)、口腔ケア用品(4袋)、 とろみ調整食品(2袋)
	匿名	紙パンツ(5袋)、尿取リパット(11袋)
	今西 テル子	手作り布マスク(41枚)、 アクリルたわし(7枚)
	北摂台自治会	布マスク(43枚)
12月分	一市民	下着(20枚)、寝巻
令和3年 1月分	一市民	紙パンツ(5袋)
	清和台地区有志	尿ケアパット(3袋)、紙パンツ(1袋)、 尿取リパット(1袋)

### ● 払出の部 - 物品 -

	内容及び数量
令和2年 8月分	・清拭布
	・紙オムツ、紙パンツ、尿パット
	・介護シート
11月分	・口腔ケア用品、とろみ調整食品
	・紙オムツ、紙パンツ、尿パット
12月分	・紙オムツ、紙パンツ、尿パット
	・手作り布マスク
	・下着、寝巻

## ボランティア基金だより

	団体名・氏名	金額(円)
令和2年 8月分	ササベケース	2,000
	内藤	3,000
9月分	内藤	3,000
	小林 純子	2,000
10月分	内藤	3,000
11月分	内藤	3,000
	一市民	2,225
12月分	内藤	3,000
令和3年 1月分	内藤	3,000

令和2年9月30日以降の寄附金より、従来の「所得控除(所得金額から控除されるもの)」に加えて、「税額控除(税額から直接控除されるもの)」の適用を選択いただけるようになりました。

税額控除を受けるためには、「善意銀行領収証」ならびに「税額控除に係る証明書」による確定申告が必要となります。お手続きをされる場合は、「税額控除に係る証明書」をお送りいたしますので、市社協内の企画・総務チームまでご連絡ください。

### 善意銀行振込先

☆池田泉州銀行川西支店  
普通 4859932  
☆三井住友銀行川西支店  
普通 3242392

〒770-0001 福知山市社会福祉協議会  
〒770-0001 福知山市社会福祉協議会

### ボランティア基金振込先

☆池田泉州銀行川西支店  
普通 4859933  
☆三井住友銀行川西支店  
普通 3680948

〒770-0001 福知山市社会福祉協議会  
〒770-0001 福知山市社会福祉協議会

## ふくしの総合相談窓口

場所:キセラ川西プラザ 福祉棟1階/川西さくら園

※祝日は実施しません

相談名	内容	問い合わせ	曜日	時間	
総合相談窓口	生活上の困りごとなど、福祉全般に関する相談	☎(759)5200	月～金曜日	午前9時～午後5時半	
心配ごと相談	日々の暮らしにおける悩みごと、心配ごとに関する相談	☎(759)8611	月・木曜日	午後1時半～4時	
成年後見制度相談	成年後見制度に関する相談	成年後見支援センター “かけはし”	月～金曜日	午前9時～午後5時半	
司法書士による 成年後見専門相談	成年後見制度に関する相談 (第2金曜日までに要予約)	☎(764)6110	第3水曜日	午後1時～4時	
日常生活自立支援事業 に関する相談	福祉サービスの利用や金銭管理に関する相談	☎(759)5200	月～金曜日	午前9時～午後5時半	
生活福祉資金貸付相談	低所得世帯や高齢者、障がい者世帯を対象にした貸付相談 ・生業費、技能習得費等 ・失業者の生活費等 ・学校の入学金や授業料等	☎(759)5200	月～金曜日	午前9時～午後5時半	
障がい者虐待防止相談窓口	障がい者の虐待についての相談	☎(764)6116	月～金曜日	午前9時～午後5時半	
ボランティア活動相談	ボランティア活動に関する相談	川西市ボランティア 活動センター ☎(759)5200	月～金曜日 第3土曜日	午前9時～午後5時半 午前10時～12時	
ファミリーサポート 会員登録	会員登録と入会説明 (要予約)	かわにしファミリー サポートセンター ☎(740)6800	月～金曜日	午前9時～午後5時半	
子どもの育児・発達相談	子育ての不安や発達についての 対応(来園相談は要予約)	川西さくら園 ☎(755)1772	月～金曜日	午前9時～午後5時半 ※川西さくら園	
ピアカウンセリング	肢体障がい者	同じ障がいを持つ方が自分自身の 体験に基づいて悩みを聞き、話し合 い、一緒に問題解決方法を探したり、 必要な知識や情報を提供。無料 ですので、お気軽にお問合せくださ い。(要予約)	川西市障がい者基幹相談 支援センター ☎(758)6228 FAX(758)6250 shien-c@k-shakyo.or.jp	月～金曜日	午前9時～午後5時半 ※予約制 (時間内随時受付)
	視覚障がい者				
	聴覚障がい者				
	精神障がい者				
	18歳未満の子ども				

※市社会福祉協議会実施分を掲載しています。新型コロナウイルス感染拡大状況により変更する場合があります。  
※上記時間は3月31日までです。4月1日からは下記時間に変更となります。

### 令和3年4月1日より 川西市社協の開所時間が変わります!

キセラ川西プラザの市社協事務所及び市内の一部施設の開所時間が、  
令和3年4月1日より下記のように変更となります。

- ◆キセラ川西プラザ市社協事務所
  - ◆久代・緑台・一の鳥居老人福祉センター及び久代児童センター
- 令和3年3月31日まで 午前9時～午後5時30分  
令和3年4月 1日から 午前9時～午後5時

- ◆小戸・川西作業所、川西さくら園・さくらんぼ、ひまわり荘、満寿荘(事務所)
- 開所時間の変更はありません。 午前9時～午後5時30分

引き続き川西市の福祉向上のため皆さまとともに取り組  
んでまいりますので、よろしく願いいたします。



川西市社協の  
LINE公式アカウント

### 友だち募集中!

講座のご案内やお役立ち情報を発  
信しています。

下記のQRコードを読み取るか、「川  
西市社会福祉協議会」と検索してくだ  
さい★



また、「LINEでこんな情報を発信し  
て欲しい」などのお声も募集中!

●受付開始(3/1～)

令和3年度  
兵庫県ボランティア・市民活動災害共済  
安心してボランティア活動をしたいという皆さまに保険の加入をお勧めします。  
掛け金は年度(4月1日～翌年3月31日)で1人500円(市民活動災害型)と600円(天災型)の2種類があります。

ボランティア活動相談

ボランティアに興味をお持ちの皆さん  
お気軽にお立ち寄りください。  
日 時: 毎月第3土曜日 午前10時～12時  
場 所: キセラ川西プラザ 福祉棟1階 市社協内  
内 容: ボランティア活動を始めようとしている方を対象に活動内容の紹介や説明を行っています。  
※上記日程以外にもボランティア活動センターにおいて、平日の午前9時から午後5時半(4月以降は午後5時)の間、随時相談を受け付けています。

オープン・カフェの開催

日 時: 毎月第2金曜日 午後5時～7時  
場 所: キセラ川西プラザ 福祉棟1階 市社協内  
参加費: 100円(コーヒー代)  
対 象: 高校生・大学生等(おおむね15歳～29歳)  
内 容: 仲間づくりや気分転換に、共通の趣味を語り合い、つながりを広げてみませんか。

ボランティア 1日体験教室

学生・勤労者のみなさん この機会にぜひお越しください。  
日 程: 5月15日(土)  
内 容: 点字  
時 間: 午前10時～12時  
場 所: キセラ川西プラザ 福祉棟2階共用会議室  
受講料: 無料  
定 員: 10名(市内優先)  
締 切: 5月14日(金)

出前ボランティア講座(随時受付中)

本センター登録のボランティアグループ等が講師となり、企業やPTA、自治会、子ども会などを対象に開催します。  
内 容: ①点字 ②手話 ③車イス ④要約筆記  
⑤高齢者疑似体験 ⑥手作り布遊具  
⑦クロスロードゲーム(災害時の判断に迷う状況を体験し価値観や視点を学ぶゲーム)  
⑧救急救命 ⑨ネイルボランティア育成  
⑩知的障がい者の理解(疑似体験)  
⑪ハンドマッサージボランティア育成  
定 員: 5～20名程度  
講 師: ボランティア活動センター登録グループ他  
受講料: 無料  
申込み: 2か月前までに希望日を複数あげていただき、グループ等と調整します。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、やむを得ず事業を中止する場合があります。ご了承ください。



申込み・問合せ: 川西市社会福祉協議会ボランティア活動センター ☎ 072(759)5200 FAX 072(759)5203  
〒666-0017 川西市火打1-12-16(キセラ川西プラザ福祉棟1階) Eメール: vc@k-shakyo.or.jp ホームページ: http://www/k-shakyo.or.jp/

谷口交通遺児基金 入学激励金申請募集

車両による交通事故により保護者(父親又は母親)を亡くされた  
交通遺児の学校入学に際して、次の通り入学激励金を給付します。

- ①令和3年4月に小・中・高等学校、大学などに入学する児童・生徒
- ②令和2年4月以前から市内に在住している場合に限りです。

給付額 小学校: 20,000円 高校: 国公立 75,000円・私立 120,000円  
中学校: 25,000円 大学: 国公立 120,000円・私立 150,000円

申請方法: 市社協所定の申請用紙に必要事項を記入のうえ、申請してください。  
(ホームページからもダウンロードできます・トピックスに掲載)

受付締切: 令和3年3月31日(水) 郵送分まで(締切を過ぎた場合はご連絡ください)。  
お問い合わせ: ☎759-5200(企画・総務チーム)

●あとかぎ● 様々な場所でSDGs(エス・ディー・ジーズ)という言葉を見聞きするようになりました。これは2015年に国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」を略したもので、17の目標と169のターゲットで構成されており、福祉の領域も目標に定められています。私たちの日々の生活が目標を達成する一助となっているか、自分自身の生活を意識することが、誰もが安心して暮らし続けることのできるまちづくりの一步となるかもしれません。